

小泉・金首脳会談後、平壤は祝賀ムード？

週刊新潮は櫻井よしこさんの「日本ルネッサンス」と高山正之氏のコラム「変見自在」が掲載されるので、毎号楽しみにみているのですが、このほど発売された新年特大号180-183ページに「小泉元首相は拉致問題で一兆円の支払いを密約していた」とする櫻井よしこさんの衝撃レポートが掲載されました。

このレポートは先に開催された国際シンポジウム「北朝鮮の現状と拉致被害者の救出」に参加した張哲賢氏(元挑戦労働党の対南工作機関である統一戦線部で働き、その後韓国に亡命)へのインタビューを元に構成されていますが、その核心部分が以下です。



拉致問題に関しては櫻井よしこの活躍には頭が下がります

>(前略)軍の構造に関する情報も含めて、金正日体制下の北朝鮮について語り得る、まさに第一人者が張哲賢氏なのだ。氏は12月に来日、同月に開かれた国際シンポジウム「北朝鮮の現状と拉致被害者の救出」に参加、初めて日本の拉致被害者家族らに、日朝交渉について語った。(中略)

「金正日と小泉首相の会談から2日目か3日目に、(朝鮮)労働党中央本部の重要部門の幹部に、秘密の書類が回覧されました。金正日の対日方針を纏めたもので、A4の紙に12頁でした。金正日の指示を示す通常の『講演資料』とは異なり、『該当者限り』と書かれていて、対南(韓国)、対日心理戦を担当する統一戦線部の幹部らが読みました」

「日本社会や政界の拉致に対する関心の度合、それに対する將軍様(金正日)の戦術、その裏にある知恵と領導(指導)についての説明が強調され、小泉首相は將軍様の領導に、頭を下げて平壤を訪問した、拉致を認定すれば日本政府は北朝鮮に100億ドルを支払うと明記されていました」

張氏は、小泉政権の対北交渉の手法は最初から間違っていたと指摘。拉致を解決したら100億ドルと言うべきところを、認定すれば100億ドルとして、要求レベルを下げたからだ。

「首脳会談後、平壤は祝賀ムードでした。我が国の戦略が勝った、日本がそれに乗ってきたという感じで、勝利を祝う雰囲気でした」

小泉訪朝の時だけでなく、日朝交渉の場面では、必ずといってよい程、兆円単位の金額が取沙汰される。65年に日韓基本条約を結んだとき、日本側は有償無償の援助、計8億ドルを出したが、北朝鮮には兆円単位の膨大な援助だという。<

日朝国交正常化と一兆円の経済援助というのは金丸訪朝以来、幾度となく報道されているので、今更驚きませんが、当時の小泉元首相が「拉致を認定したら一兆円を支払う」と確約していたとの今回の報道には驚きました。日本政府のスタンスは対話と圧力を通じて、拉致問題を解決し、日朝国交正常化をしたら、一兆円相当の経済援助をする、と私が理解していたからです。

拉致を認めたら「一兆円」というなら、確かに金正日は認めて頭を下げたのだから、その段階で払わねばならないことになってしまいます。もちろん、この情報は北朝鮮サイドのもので、日本政府に聞いても「そのような約束はしていない」で終わってしまうでしょう。しかし情けないと思います。

日本には取引カードはいくらでもある

「拉致した日本人を直ちに全員返せ。応じないというなら日本は在日朝鮮人の拘束と資産を没収する！」くらいのことは云えないのでしょうか？。金正日は「東京に核を落とすぞ」と脅し、実際に日本を標的にした核ミサイルの実験をやっているのではないですか。既に戦時モードですよ。

加えて、日本にはいくらでも取引カードがあるのです。在日が経営するサラ金、パチンコの規制と課税、在日特権の全廃、朝鮮人学校への補助の停止等々、金額にしたら一兆円どころではなくその何倍もの効果をすぐ上げることが出来るのです。気持ちの上では、拉致被害者を全員救出したら国交正常化などんでもない、金も払う必要はありません。ふざけるな！です。

この特集は次の言葉で結ばれています。

> 拉致問題を解決するために日本は何をなすべきか。張氏が強調した。

「原則を守ること、拉致の解決なしには6者協議からの脱退も辞さないこと。そして拉致被害者の情報提供者に日本政府が報奨金をだすこと。そうすれば、北の高官の中からさえも情報を提供する人間が現れると思います。心の奥深いところで、誰も皆、この生き地獄から抜け出したいと考えています。日本政府が拉致解決を決意して呼びかければ、瞬時に口コミで伝わり、情報は北の内部から引き出されてきます」。

拉致解決を言葉だけに終わらせ、国民を見捨てるような国であってはならないのだ。国民を守る気概も持てなければ、国際社会で日本のひとり負けとなる。<

西村慎吾総理大臣、櫻井よしこ官房長官、田母神俊雄防衛大臣のコンビを実現したいです。

カテゴリ: コラム フォルダ: 指定なし   

コメント(2)

タグ: 拉致 週刊新潮 櫻井よしこ 張哲賢 小泉訪朝 首脳会談 金正日

コメント(2)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **ryoma-no-chichi** さん

2008/12/29 11:00

先生のブログを毎回拝見させて戴き、自然に勇気を頂いております。有難うございます。憂国日本の将来は、一体誰の為にあるのでしょうか。小生は今の子供達の為だと思います。彼ら彼女らが安心して生活できる日本の社会が将来、あらん事を願えばこそ、些細な事でもできる術を伝えていかなければならないと考えております。これからも、たくさんの人々に勇気を与えて頂けます事、願って止みません。来年が、先生にとっても、この国にとってもよい年でありますように・・・。



Commented by **花うさぎ** さん

2008/12/29 18:33

To ryoma-no-chichiさん

こんばんは。

> 先生のブログを毎回拝見させて戴き、自然に勇気を頂いております。

ありがとうございます。でも先生は止めて下さいね(^ ^;)。

> 憂国日本の将来は、一体誰の為にあるのでしょうか。小生は今の子供達の為だと思います。

正にその通りです。逆に言うと、自分さえよければというお年寄りが増えているような気が

して心配しています。

彼ら彼女らが安心して生活できる日本の社会が将来、あらん事を願えばこそ、些細な事でもできる術を伝えていかなければならないと考えております。

本当です。少なくとも「日本は悪い国だった」などという歴史観は若い方にはもって貰いたくないですね。